

## 第2回琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会 議事録

1 日 時 令和6年10月29日(水)  
開会：19時00分 閉会：20時30分

2 場 所 琴平町総合センター2階 大ホール

3 出席者 【委員】 29名中29名出席

【事務局】生涯教育課(学校整備推進室長) 課長 真鍋 聡、  
課長補佐 並木幸司、山下陽一、技師 川原聡明、  
主任指導主事 森江克典、尾崎定義  
地域整備課 平原徹  
子ども・保健課 課長 西岡敏、課長補佐 大西孝幸

4 傍聴者 6名

5 議 事 (1) 統合小学校及び統合認定こども園の素案説明  
テーマ① 校舎・体育館・園舎の配置について(グループ協議)  
(2) その他連絡事項について

(委員長)

皆さんこんばんは。定刻がきましたので、ただいまから、第2回琴平町立小学校・認定こども園の統合新築検討委員会を始めたいと思います。

まず初めに、私の方から少しだけお話をさせてもらえたらと思います。

約1ヶ月前、第1回の時にお集まりいただきまして、新しい小学校・こども園の建設に向けて、皆様のご意見をしっかりとお話いただきたいということで、スタートした経緯がありますが、今日は、設計事務所が来ていただいていますので、具体的な検討に入るということになっていこうかと思っています。

前回の第1回の検討委員会の際に、ご意見とか、質問とか出たことがありましたけれども、今回の検討委員会については、新しい小学校・こども園、今後の琴平で育ててもらう、未来の子どもたちのためにとということで、どういうふうにつくっていくかということですので、いろんな状況があろうかと思いますが、例えば、こういうのがあったらいいな、これができたらいいなという意見をしっかりと出していただいて、様々制限がかかるということはありません。この間も言いましたが、本当の設計に入っていくという段階になると、やっぱり、お金のことも考えていかなければならないので、それは、町や、町教育委員会でやってもら

うとして、この場については、皆さんからの自由な発想、ご意見、こういうのがあればいいぞ、琴平のためにいいぞという事を、しっかりと出していただけたらと思います。

それでは、今日の内容の方なんですけれども、まず、本日の進行を進め方とか中身について、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

はい。説明させていただきます。

まず、お手元に配らせていただいているA4横の資料、こちらが設計会社から出てきている素案になります。

まず、その説明を設計会社からしていただいて、その後グループ協議に移ります。グループ協議ですが、一応20分ぐらい時間をとりたいと思っています。その後、発表になるので、机に置いてあるA4縦の資料、それがメモ用紙なので、それにメモをとっていただくようになります。司会をする方と、メモを取る方、あと発表する方の3名を決めていただいて、20分間の協議していただけたらと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

では、お席の方に資料等はあると思いますので、そちらをご覧くださいながら、まずは設計の方から説明をいただいて、進めていこうと思います。それでは、設計を担当していただく、清和設計さんの方からお願いします。

(清和設計)

失礼いたします。このたび設計を担当させていただくことになりました。私、株式会社清和設計事務所所長の神余と申します。あと、幸田と竹内でございます。3名で本日参らせていただいております。設計の方の業務を頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

はい。それではですね、今回プロポーザルということで、弊社提案させていただいた内容についての説明をさせていただきたいと思います。

私たちの提案は、琴平の学び・遊び・楽しさをテーマに計画しています。

それでは資料のお手元にも資料あると思いますが、ご覧くださいながら進めたいと思います。

まず、課題1ということで、建設候補地における配置計画についての提案を説明させていただきます。

敷地周辺環境としては、大麻山また象頭山が西側に象徴的にあり、周辺は整然としたのどかな田園風景と伝統的な家屋の集落に囲まれています。計画概要としては、小学校の校舎棟は鉄筋コンクリート3階建て、体育館は一部2階建てです。こども園は、鉄骨2階建てで、

放課後児童クラブ棟は木造の2階建てと考えています。

続きまして、敷地配分です。

通学の利便性や大型バスの動線を考慮し、小学校を敷地の東側に設定します。小学校は、東側県道と接続する細い敷地を桜並木のアプローチとします。

こども園の敷地は、送迎を考慮し、駐車場が多く取れる西側に配置します。また、放課後児童クラブをこども園と小学校の中央に配置し、渡り廊下でそれぞれを接続します。こども園と隣接させることにより、駐車場を一体利用することができ、利便性が向上します。道路をまたいだ南側敷地は駐車場にします。

次に、2ページ目をご覧ください。

ここでは、配置計画のうち、安全管理と地域開放について説明いたします。

まず、建物概要です。小学校は、敷地の南側に2棟建ての校舎棟、その西側に体育館を配置します。正門及び昇降口は、東側の桜並木を進んだ先に設けます。

こども園は、敷地の東側、北東側にL型の園舎を配置し、駐車場側に玄関を設けます。放課後児童クラブ棟は、こども園に隣接して配置し、玄関も同様に駐車場側に設けます。

スクリーンをご覧ください。これは建物概要を示すイメージパースです。

手前に東側県道があり、そこから伸びる桜並木のアプローチの先が小学校で、奥に体育館、その北側に放課後児童クラブ棟があり、さらに奥にこども園があります。はい。戻ります。

次に、安全管理ですが、使用状況に応じたセキュリティラインを設定しています。

小学校は、運動場を含むオレンジ色の線と橙色の線がセキュリティラインを示し、フェンスや門扉で仕切ります。また、職員室と事務室は、小学校管理エリアとして、入口方向や運動場、校舎棟に向けて、広く見通しがよい位置に配置します。こども園も同様に、オレンジ色の線と橙色の線が保育中のセキュリティラインを示しています。こども園の管理エリアである職員室も、廊下や園庭の見通しがよい位置に配置しています。

次に、地域開放についてです。学校開放エリアを黄色で示しています。体育館は直接進入できる入口を設け、校舎棟への動線を遮断する施錠管理を行います。地域PTA活動エリアは、小学校とこども園双方を渡り廊下で接続し、連携が活発にできるようにしています。子育て支援施設は、小学校とこども園から独立した配置にし、駐車場から直接利用できます。避難所としての機能を考慮し、体育館と校舎間のセキュリティや備蓄倉庫の近接配置に配慮しています。

3ページに移りまして、交通計画、施設利用について説明いたします。交通計画の考え方として、歩行者動線と車両動線を、明確に分けます。また、近隣の交通状況への影響が最小限になるように計画しています。小学校の児童は、東側正門からの通学を想定し、状況により西側、北側、南側の入口を活用することもできます。

こども園は、南側の玄関から通園します。こども園の駐車場からは、歩道と横断歩道を経由して玄関に来ることができ、安全に配慮しています。

放課後児童クラブは、小学校から直接移動し、帰宅時は駐車場側の出入口を利用します。

駐車場は、小学校の東側、南側敷地、体育館の南側、こども園の南側と西側に配置いたしました。

駐車場台数は、提示された必要台数以上を確保し、多目的駐車場も適宜設定をしています。

職員や保護者には、敷地周囲の道路の一方通行利用を促します。また、駐車場内も一方通行利用を原則とします。

小学校の運動場には、東側、北側、西側に門扉を設け、緊急車両やメンテナンス車両の出入口とし、救急車両が保健室前までは入れるようにします。また、大型バスが入る動線を確保し、遠足時のバスの待機スペースとして使えるようにします。給食運搬車両は、南側道路から進入し、セキュリティにも配慮しています。

こども園の園庭西側には、緊急車両やメンテナンス車両の出入口を設けます。給食関連の搬入車両は、北側道路から進入し、セキュリティにも配慮します。敷地の南側道路は、十分な幅が確保できるように、敷地を後退して計画します。

4ページに移りまして、課題2. 基本構想基本計画に即した建築平面計画についての提案を説明させていただきます。ここでは平面計画を説明いたします。

まず、こども園周辺の提案です。スクリーンをご覧ください。

L型のこども園棟に沿って、円筒型ひさし下空間を設置し、大きく弧を描くひさしの下は真夏の日射を遮り、日陰の外遊び空間を作ります。

園庭には、築山、菜園、砂場、遊具等を効果的に配置し、児童の想像力を伸ばします。

屋上園庭を2階の屋上スペースに芝生の園庭として設置し、地上の園庭と分けて使用することで、保育のバリエーションが多彩になります。戻ります。こども園プールは周囲の建物で、夏場の日射を緩和します。

次に、放課後児童クラブですが、こども園と小学校双方に1階レベルの屋根つき通路と2階レベルの渡り廊下で連絡しています。また、運動場南運動場側通路を設け、小学校からの下校時間の通路、施設利用中の運動場への通路としています。

続きまして、小学校の平面計画の提案です。

県道から入った桜並木の正面には、昇降口に至る木造瓦歩廊を設置します。校舎棟の顔となる木造瓦葺き歩廊は、金倉川に架かる、さや橋をモチーフとしたアプローチになります。

事務室、職員室は、正門と歩廊に面していて、外部からの来訪者や不審者に素早く対応できます。

運動場側にも昇降口を設け、運動場側動線と登校時の動線に対して、効率的に計画しています。

体育館ひさし上通路を設置し、校舎と放課後児童クラブを2階レベルでもつなげ、緊急時の避難ルートなどにも活用できます。

小学校とこども園の屋根には太陽光パネルを設置します。

次に5ページに移ります。ここでは次ページの平面計画を理解しやすくするため断面計画を説明します。

図面の右側の桜並木から続く木造瓦葺き歩廊を通過して、小学校の校舎棟に入ると、昇降口の奥に木製の大階段が広がっています。

スクリーンをご覧ください。

昇降口から2階の図書室、コンピューター室に続く、幅約8メートルの大階段は、児童が歓談をしたり、本やメディアを閲覧する多目的スペースとして活用することができます。

下のパーツは、2階の教室前から見た化粧木組みを表しています。戻ります。

校舎棟は2棟の切妻が並ぶ構成となっており、この2棟は渡り廊下でつながれています。日当たりのよい南側の棟に普通教室が配置され、各教室の前には多目的スペースが用意されています。北側の棟には、特別教室が配置され、その1階は運動場に面した職員室等の管理エリアになっています。北棟と南棟の間には、大階段を配置しています。

こども園の1階と2階の保育室の前には、円筒形の大ひさしを設置しています。

スクリーンをご覧ください。

園庭を取り巻く大ひさしは、暖色系の色彩で、楽しさを強調する円柱で支えられ、暑い夏の時期には、園庭の周辺に心地よい日陰を作ります。

この大ひさし下は、運動会のような機会には日陰の観覧場所となるように計画しています。次に6ページをご覧ください。

ここでは、1階平面図の説明をさせていただきます。

スクリーンで使用している写真は、弊社の設計案件から引用したイメージです。

まず、こども園です。

南側に玄関を設けています。玄関から東側の子育て支援室に行く通路があります。玄関の正面に職員室を配置し、子どもたちの見守り、来客や不審者対応を行います。職員室周辺に保健室や相談室などを設置します。L型建物のコーナー部分には、階段とエレベーター、プール動線を設置しています。保育室は、避難のしやすさを重視し、1階に0歳、1歳、2歳を配置いたします。保育室には専用の芝生スペースを設置し、見守りしやすい中で安全に外遊びができます。保育室は、間仕切りで区画できるようにもします。また十分な就労も確保いたします。多目的保育室を設置します。ここは、園児たちのランチルームとして活用したり、一時保育のスペースとしても活用します。北東部分には、厨房関連を配置しています。子どもたちが、厨房の中の作業を眺めることができる、ガラス窓のあるスペースを廊下の一角に設けています。

放課後児童クラブ棟は、北側エリアを放課後児童クラブ、南側は子育て支援室にしています。渡り廊下で雨に濡れずに小学校へも行けます。子育て支援室はこども園を経由せずに利用できる独立性を確保しながらも、こども園と廊下でつながり、連携しやすくしています。

小学校ですが、1階昇降口の正面に大階段を設けます。自由な使い方ができ、児童のメインの交流エリアとなる多目的スペースにします。南側校舎には1年生の普通教室と生活科室を配置し、生活科近くに菜園や飼育小屋を設置しています。会議室は、外部からの利用者と児童の動線が交錯しないように配置しています。配膳室は、外部からの搬入がしやすい配

置にしています。北側校舎には、管理部門と相談室、放送室、保健室、カウンセリング室を配置しています。校舎や運動場を見渡せる配置とし、安全管理の拠点として、センター機能を持たせます。また、更衣ブースを設け、様々な特性や事情により、集団での更衣に困難を抱える児童に対応します。西側の体育館には、校舎から直接出入りできるようにしています。体育館には、地域開放を考慮し、南側道路からの出入口を設置しています。アリーナは、避難場所としての利用に配慮した空間とします。運動場活動時用に、屋外倉庫と屋外トイレを設置します。

次に7ページをご覧ください。2階の平面計画を説明させていただきます。

まず、こども園です。

建物コーナー部分にある階段を上った北側部分が保育室です。ここは3歳、4歳、5歳児の保育室としています。1階と同様に、間仕切り区画対応とし、収納を設置しています。東端に遊戯室を設置し、ステージを含めると180平米以上の十分なスペースを確保しています。また、大きな催しを行う際には、5歳児保育室を連続させることも可能にしています。廊下から西側に進むと屋上園庭があります。多彩な保育を可能にします。廊下のL型コーナー部分に絵本コーナーを設け、子どもたちの想像力を育みます。

絵本コーナーから南に進むと、管理部門になります。可動間仕切りのある会議室、資料庫、職員の休憩室と更衣室を配置しています。休憩室からは、放課後児童クラブ棟と接続する出入口を設けています。階段はL型コーナー部にメインの階段を設置し、遊戯室の東側と屋外園庭に屋外階段を設けています。

次に、放課後児童クラブ棟です。

北側部分に児童室を設けています。2方向に避難できるように階段を計画しています。南側部分は、地域PTA活動拠点室としています。小学校やこども園から独立した動線で利用することができ、地域の方々、PTAの方々が夜間も利用できるセキュリティ計画にします。利便性を考慮して、エレベーターを設置します。

次に、小学校ですが、南側校舎に特別支援学級と普通教室を配置します。廊下側には、多目的スペースを設置し、子どもたちの活動を多彩にします。北側校舎には、図書室、コンピューター室、視聴覚室、音楽室を配置しています。図書室やコンピューター室は、大階段の多目的スペースと一体利用でき、休憩時、雨天時の自由な活動の場になります。体育館側には、更衣室と備蓄倉庫を設置しています。更衣室は、地域開放時にも利用できるようにします。体育館の2階レベルの外部通路から空中歩廊を経由し、放課後児童クラブ棟に移動することができます。

次に、8ページをご覧ください。

小学校の校舎棟3階の平面計画を説明いたします。南側校舎に高学年用の普通教室を配置し、教室前には多目的スペースを設けます。北側に理科室、図工室、外国語活動室、家庭科室を配置しています。特別教室の配置については、基本設計時のヒアリングを通して、配置する会などを調整させていただきます。中央の吹き抜け空間は、廊下に自然光の明るさと

通風を取り入れることができ、建物全体が開放的で健康的な空間になります。小学校の廊下は、北棟と南棟を2ヶ所の渡り廊下で接続し、回遊性を確保します。階段は3階までの直通が2ヶ所と、2階までの大階段と、体育館の階段を含め4ヶ所の階段を使うことができ、より安心な避難計画になっています。

また、各階共通の内容を説明します。

普通教室は8メートル×8メートルの64平米を基本グリッドとし、木質系の内装仕上げを多く取り入れます。南側にはバルコニーを設置し、避難地の動線を多元化し、また、日射を遮る効果もあります。多目的スペースは、グループ活動やコミュニケーションスペースなどに活用でき、感染症対策の手洗いとも連携します。また、教職員スペースを設けます。教材庫としての利用や小会議室や職員室のサテライト的な使い方も可能になります。各階には児童が利用できる更衣室を設置し、男女別の更衣に配慮しています。エレベーターに近接して、配膳室を設置し、合理的な動線計画にしています。弊社はトイレの図案にこだわりを持って設計します。過去の小学校トイレのトイレの写真をスクリーンに映します。トイレに行くのが楽しくなるように工夫しています。上の写真はグッドデザインアワーズというものに東京の方で設計をさせていただいたものでございます。

次に9ページをご覧ください。

ここでは立面計画の説明をさせていただきます。

全体としては、切妻屋根のデザインで統一し、アースカラーをベース色とします。また、単調にならないように、琴平の学び、遊び楽しさをイメージする外観にします。小学校ですが、校舎の北棟と南棟の2つの切妻のコンビネーションになっています。

スクリーンをご覧ください。校舎棟の柱は、変化のある色彩とします。屋根はコストを考慮し、金属屋根の瓦棒葺きとします。南側のトイレ外壁には、木調のルーバーを設置します。体育館も校舎棟と同様の外部仕上げとします。外壁上部は木目調の吹き付けアクセントとします。機械置き場前は、木調のルーバーを設置し、校舎との一体感を演出します。琴平町の歴史や文化を取り入れるため、さや橋をモチーフとした木造瓦葺き歩廊を設置し、児童だけではなく、小学校を訪れる人たちにも、伝統を大切にしているという感覚を共有することができます。こども園の円筒形を大ひさしの側面部分は木目調に仕上げます。ひさしを支える柱は、暖色系のグラデーションカラーを採用します。屋上園庭の西面には5つの円形の開口を設け、その小口には多彩な色彩でカラーリングを採用し、大ひさし周りとともに遊び楽しさのワクワク感が高まるようにしています。玄関前の自転車置き場の切妻の瓦葺き屋根とすることで、小学校とのコンセプトの一体感を生み出します。屋根は金属屋根の瓦棒葺きとします。木造切妻屋根の放課後児童クラブ棟では、外壁に木質感を高める仕上げを採用し、木とひさし部建築であることのシンボルとします。はい。以上で説明の方を終わらせていただきます。

これはあくまでプロポーザルの計画でございますので、限られた情報の中で計画したものでございます。いろいろご意見等賜りながら、また修正等々をかけていきたいと思っております。

りますので、どうぞよろしくお願いいいたします。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

今の資料に沿って前の画面の方も見てもらいながらの説明ということでした。

ご説明いただいて、それですぐにこれはどうなのかというのは出てこないかもわかりませんが、最初にちょっと質問などをお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(保護者 A委員)

小学校の給食配膳室の前のエレベーターがありますが、これは車椅子とかの児童が乗れるようなエレベーターになっていますか。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。

このエレベーターは、児童はもちろん使えますし、車椅子も対応できますし、給食の配膳にも使うというように考えております。以上です。

(保護者 J委員)

小学校にはプールは設置されないのですか。

(事務局)

この今の計画では、小学校のプールは設置しておりません。

意見等を聞いたり、学識経験者等の意見も聞きながら進めてまいります。

まだこれは、決定ではございません。今、町として考えているのは、プールは外注先で、プールのスペースを他のものに使えたらな。と考えておりますが、様々意見を言っていたらと思います。

(小学校運営協議会：A委員)

桜並木のことについてお伺いたします。学校ではやっぱり大型バスが入ってきて、そしていろんな行事に出かけるという機会が非常に多いと思います。

実際に私も以前の経験として、間口がありそうで、大型バスがずっと入ってくるのがなかなか難しいというようなところもありました。

そこら辺については、そのクランクのところを大型バスがずっと入って、運動場まで行くというふうに説明がありましたが、そこらの動線というのは比較的スムーズにいくようになっているのかどうか。そのあたりの所をお伺いしたいと思います確認です。

(委員長)

お願いします。

(清和設計)

ご意見ありがとうございます。もちろんバスがスムーズに入るという大前提で計画していきたいと思っていますので、これからまた実施設計に渡っていく中で微調整をしていきながらですね、桜並木とバスの動線の共存ということで設計していきたいと考えております。以上です。

(委員長)

はい。他いかがでしょうか。

(議員 B委員)

すみません。2点お願いします。

まず、これ敷地内についての防犯カメラ等の設置状況については、どこに入っているのでしょうか。その辺りが1つと、もう1点は、こども園の場合、汚物の保管場所、いわゆる紙おむつ等の保管場所っていうのは大変臭いとか、衛生等の面で、これからも重要な点になると思うのですが、その点についてどこに配置しているのか。その辺りをお示しいただきたいと思います。

(事務局)

防犯カメラと、あと汚物の場所、捨てる場所ですね。防犯カメラにつきましては、先ほどありましたセキュリティーエリアを設けたり、それに合わせて、今後、どこにつけたらいいかというのを考えていけたらと思っています。

あと、こども園の方の汚物の場所も、また、実施設計等でこれから細かく設計していきますので、それでもたぶん動線的にこの場所の方がいいだろうという意見もあわせて、この場に出せていただけたらと思いますので、まだ、そこまで細かく決まっているものではありません。

(委員長)

すみません、私、1つ忘れていて、記録の関係でご質問いただくのは全然構わないのですが、お名前を言っていただいた方がいいらしいので、お名前言っていただいてから、ご質問いただけたらと思います。

(議員 C委員)

まず、統合小学校の場合ですね、校舎棟の建設で、鉄筋コンクリート3階建てになってますよね。こども園の場合が鉄骨造りの2階建てという形で、これはやっぱり耐用年数とか、それから建設コスト、そのあたりを考えられてやったものかどうかちょっとお聞きしたいのですけども。

(清和設計)

小学校の方はですね、3階建てということもあって、構造的な安全性等々を考慮して鉄筋コンクリートというふうにさせてもらっています。コスト面でいうと、鉄骨の方が若干安いというところもございますので、こども園の方はコストも考慮しながら、そして自由な大きな空間も設計できるということで、鉄骨造ということで考えさせていただいております。やはりコストというところも踏まえながら、選定をさせていただいているところでございます。

(南こども園 園長)

先ほどの汚物の件ですけれど、子ども・保健課の方で一応、トイレの中に、おむつをはめるとバットとパッキングして、衛生的に捨てられるようなシステムを作ってくださいって、そういう機械を買っているんで、たぶん新しいところでも、そういうふうにして、衛生的なもの、このまま継続していけるのではないかなと思います。それを何日か貯めてごみと一緒に出しているんで、前と比べると、本当に衛生的になっています。

(委員長)

何か便利な機械があるということです。

(保護者 K委員)

ちょっと聞き漏らしているだけかもしれないので確認ですが、小学校の方の避難用の外通路とか外階段のようなものは、特に設けられてはないですか？こども園の方は、外階段のお話が聞いた記憶があるのですけども、小学校の方で3階・2階からの外階段というものは、避難用には設置してなかったでしょうか。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。

階段の本数はですね、建築基準法上で安全性を考慮した本数、並びに距離ですね、それが全部規定されております。法律上ですね、屋外階段じゃなきゃいけないということではなくて、屋内階段であっても、各教室からの距離、それが十分一定の距離以内であれば、問題ございませんので、現状の計画で、法律上はですね、十分に安全に配慮された階段の一本数にな

っているというふうに考えております。以上です。

(象郷小学校 校長)

小学校の教室棟の方のスケールは、8メートル×8メートルで、よくわかりますが、体育館、アリーナですね、アリーナの柱間と、こども園の方の柱間はだいたいどのぐらいになっているのか。スケールをお教えいただきたいです。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。

まず、体育館のスケールですけれども、アリーナのところで柱が5メートルピッチで今配置しております。アリーナ自体は25メートル角、25メートル×25メートルプラスステージというような大きさを設定させていただいております。

あとですね、こども園の方に関しましては、定員×所定の1人当たりの面積という基準がございます、その面積をクリアできるだけの大きさ、ちょっと余裕を見ているのですが、それをやっていますのでスパン感というよりも、工程の面積を十分に確保する、寸法という形で取っております。大きさ的には、部屋ごとでちょっと違いますが、8メートル、10メートルとか、90平米近辺ぐらいの部屋になっているところでございます。

(あかね保育園 園長)

こども園の設計についてお聞きしたいのですが、今の設計では0・1・2歳児が1階、3・4・5歳児は2階が主な居住スペースということよろしいでしょうか。どうしても発達年齢による階段の上り下りとか、災害等の発生したときにその避難経路とかがあるので、やっぱり子どもの発達に応じて、2階、1階は計画したほうがいいかなと思って質問した次第です。

(清和設計)

ありがとうございます。

これ実は、自治体さんによって考え方が違うところがございます、今回プロポーザルではですね、0・1・2歳を1階というふうに設定させてもらいまして、これはやっぱり避難ということが一番重要視するとですね、1階になります、3・4・5歳の方の屋外での運動場との遊びを重視するということになってくると、逆に3・4・5を下にするっていうような設計をすることもあるので、これは町の方針に応じてですね、0・1・2を下にするとか、もしくは3・4・5を下にしたりするとかというのは、ご意見いただいて修正していきたいと思っております。今のところは、0・1・2は1階というふうに考えております。以上です。

(議員 C委員)

3ページ目ですね、地図平面図の中で、小学校側、駐車場が分散していますよね。台数的に。小学校側で100台、それから、あとはこども園側で100台の分散した中での周辺に駐車場があるわけですが、私もびんどこないのですが、とりあえず小学校もこども園もですけど、送り迎えが非常に多いと思うんですよね。だから、その一定の時間に送り迎えで駐車場が混雑するとか、それから送り迎えで歩いて行くこども園なんかでしたら、歩いていく経路ですね。そのあたりのことは、考えられていますか。ちょっと見てピンどこないので、そのあたり考えていただいているのかなと思うのですがいかがでしょうか。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。

まず、こども園の方に関しましてはですね、北側の道路から一方通行で入っていただいて、一番西寄りのところの駐車場から入っていただいて、駐車場そこにありますので、各自止めて送迎するというのを考えています。時間体としては重なってくるとは思いますが、一方通行とかをしながらですね、整然と行っていただければいいかなというふうに思っています。小学校の方ももちろん送り迎えをするケースもあろうかと思えます。それに関しては、周辺の道路に迷惑をかけないような程度で、スペースを今ちょうど東側のスペースなんかも使おうと思えば使えるということなので、これは学校としての運用の方針とかもあるとは思いますが、町の意見も聞きながらですね、どれぐらいスペースを取るか検討していきたいと思っております。以上です。

(議員 C委員)

併用はできると思うのですがね、小学校とこども園のエリア的にいったら、どっちかが空いていて、何かの行事があつてとか、という形になると思うのですが、だいたい私もよくわからないのですが、200台ぐらいのスペース、収容人数ですよね、こども園と小学校の場合でしたら、400ぐらいかな、400名ぐらいの方が、何かの形で一同にするという形でマックス、200台ぐらいが普通ですかね。ちょっとその辺がわからないのですが。

(委員長)

駐車場が200台確保されている小学校私は見たことないですね。大抵の場合は、中学校もそうですけど、行事があるときには運動場を駐車場として開放するので、はい。琴平中学校だと、駐車場が50ぐらいですね。

(教育委員 A委員)

今日はこれ配置計画についての提案ということでございますので、非常に詳細にわたってわかりやすい説明ありがとうございました。

次の段階になるのかもわかりませんが、空調関係のところをちょっとお聞きしたい。もう各教室はもちろんのこと、例えば、こども園の方であれば、多目的保育室とか、小学校の方では体育館、含めた、この辺の空調施設等の設置計画等があればですね、教えていただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

基本設計として出していただいている間取りでありますとか、配置図でありますので、先ほど(教育委員 A委員)さんが言われたのは、たぶん実施設計で具体的にどの部屋に必要であるとか、体育館にはどういう空調が必要であるというのは、実施設計で具体的に決めていきますので、もう少し先になると思うのでよろしくお願いします。

(あかね保育園 園長)

そもそも基本のところなんですけども、こども園は、何名ぐらいの収容を想定しているのか、小学校は、何名ぐらいの収容を想定しての設計なのか、教えていただけたらと思います。

(事務局)

こども園の方は175名、それと小学校の方はちょっと今手持ちにないですが、各学年2クラス分で部屋をとっていますので、1クラス35人未満で、2クラスの計画で作っております。

(あかね保育園 園長)

わかりました。ありがとうございます。

(小学校運営協議会 A委員)

車の動線のことについては、先ほどお伺いして納得しましたが、平面図、3ページの分を見てたらずね、この敷地の西側のところに道がありますよね、一本。

だから、ずっと回り込んで西側にずっと道があるのですが、このところは動線として含まれてないんですよね。北から南へ向かって通るような形になっているのですが、駐車場として利用する場合には、そういう車の動線というのはちょっと無理が出てくる場合があるかなと思ったりして、この敷地の西側の道路というのはその矢印がついてないのは、何か理由があるのかなと。北側南側には、動線として矢印がついているのですけども、そこについてお伺いしたいと思います。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。

基本的にはですね、できるだけ周辺近隣の方への交通負担をできるだけ抑えて、小学校・こども園の敷地内で収まるものは収めていこうという、それを一つの考え方として持っています。ですので、こども園の西側の駐車場に関しては、基本的に西側の道路を通るのではなくて、駐車場内を一方通行という形にしてということで周辺の近隣さんへの影響を最小限にしたいというふうに考えております。以上です。

(委員長)

はい、お願いします。

(議長 A委員)

先ほど、小学校の校舎は鉄筋コンクリート造りということをおっしゃいましたが、こども園の方は、鉄骨造りと、鉄骨造りで3階建てだったら十分いけるのでは、ごめんなさい。小学校も鉄筋コンクリートにする必要はないのではないかなど。工期も早くなるし、コスト的にはちょっとわかりませんが、特に今からそれこそ建て替えてとか、そういうことを考えるのは、まだちょっとあれだと思いますが、その面に関しても、全然、コストが違うと思うんですよ。やはり今、鉄筋コンクリートってなっていますが、都会の方でも大きなビルディングはもう、鉄骨じゃないですか。ですから、構造上では、私はできると思うんです。だから、できたらそういうふうにして欲しいなと思いますね。

(清和設計)

はい、ありがとうございます。構造計画的にはもちろん鉄骨造でも設計することは、もう技術的には全く可能でございます。

今回3階建てに対して、鉄筋コンクリートがいいかなと思ったのは、やはり耐震性の問題で、3階ぐらいの建物っていうのは、やはり鉄筋コンクリート造が一番安定するかなあというふうに思っているところで採用させていただいております。2階建てだったら鉄骨のほうがいいかなとか思ったりもしたところもあるんですが、そういう選択をさせていただいたところでございます。

(議長 A委員)

その辺り構造計算上で、柱を少し多くするとかそういうことで、私は対応できると思うんですけども、あまり鉄筋コンクリートは、今の、琴平の庁舎とか、そういうところの建物見ていると、あんまり感心しないんです。鉄骨の方が私まだ、表面処理なんかだったら、うまくいけば綺麗だと思うんですけども、その辺り考える余地はないんですかね、全然。

(委員長)

ご意見いただいて、検討いただけるということですので、考える余地がないってわけではないと思います。ただ鉄筋コンクリート、琴平町役場の鉄筋コンクリートは50年前の鉄筋ですから、鉄筋コンクリートだから、今の鉄骨よりは弱いと思いますけど。グループ協議の時間があるので、もう最後1名だけお願いします。

(議員 B委員)

今回、先ほどから大変いい設計図を見せていただいておりますが、大変空間が多い、自由に遊べる場所多いんですが、これまでの資料の中で令和12年までのこどもの数は出てきておりますが、できれば20年後ぐらいまでの予想、出生者数、いわゆる子どもの数がどのように推移するかというぐらいのことについてのシミュレーションはお願いできたらと思います。次回の検討委員会のときまでにそれをしていただければ、これからどういうふうな形の学校を造るかということについては、5年後10年後よりも、やっぱり20年ぐらいまでのスパンで考えていく必要があると思います。

あまりにも空間スペースが多すぎる場合には、逆に今度、子どもの教育にとって、狭いところであるんじゃなくて、広くて、そんな中で小さい子どもの数が少なくて、そこで教育をするというのはどうかなと私は思っておりますので、そのあたり、できれば20年後ぐらいまでの現在の出生数等を鑑みて、予測値を出していただければと思いますのでよろしくお願いたします。

(事務局)

はい、先ほどちょっと小学校の人数出せませんでしたけども、出生者数を元に今から5年後先の目標人数で計画をしております。先ほど言われた、その10年後20年後っていうのもありますが、現在の子どもたちが、まず自由に学校生活を送れる計画でありますので、またそれ後のことも考えなければいけません、なかなかそれでスペースで狭くするであるとか、部屋を少なくするというのは、ちょっと違うかなと思いますので、意見としては伺っておりますけども、出生者数につきましては、5年後先の出生者数で考えさせていただきます。

(委員長)

皆さんもご存じだと思いますが、琴平町は消滅可能性の町に上がっておりますので、20年後30年後あるのかというぐらいの勢いになるかと思いますが、考えによれば素晴らしい学校があつて、そこで充実した教育が施されるならば、琴平町の人口だって増えなくはないんじゃないかと私は思っています。琴平の人口を増やす方法を考えないといけませんよと、町長には言っていますが、町長さんや議員さんの皆さんのお力をお借りして、琴平町の人口を増やすと、来る町にしてもらおうのが大事かと思っておりますので、少なくなっていく方向だけで

考えるのはちょっと違うかなと思います。

時間がなくなってしまったんですが、4グループに分かれていただいておりますので、そのグループ内で自由に意見交換をしていただいて、司会と記録の方だけお決めいただいて、グループでの話す時間を15分ぐらいとりたいと思いますので、8時10分まで、前の時計を目安に、グループでの自由な意見交換していただけたらと思います。そのあと各グループで報告、メモしていただいた方に申し訳ないのですが、こんな話がありましたっていうことで、報告いただけたらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

では各グループでお願いします。

グループのお話中ですが、基本的に配置についての内容をお願いします。

よろしくをお願いします。

(事務局)

グループ協議中すいません、今回のテーマですけど、間取りとかではなくて、基本的に建物の配置になるので、校舎が北側の方がいいとか、南側の方がいいとか、園舎が西側の方がいいとか、そういったテーマになりますので、教室がどっちにあったほうがいいのかっていうのは、次回からになりますので、その点よろしくをお願いします。

(委員長)

はい、あと十分にまとまらなくていいと思いますが、記録で報告の方はまたご準備いただけたらと思います。

はい、ではまだいろいろとグループでの意見交換されているところだと思うのですが、時間の方も8時10分過ぎてきましたので、このあたりでグループ協議の方はひとまず終えたいと思います。

Aグループの方からお願いできるでしょうか。

(Aグループ)

はい、それではAグループ、グループ協議の内容を簡単に話をします。

全体的な配置でいくと、果たしてこの駐車スペースとして200台が必要か、そのために必要なところが狭くなっているのではないかという話が出ました。

特に体育館のスペースとして、児童数基準の広さと考えるのではなく、中学校が防災拠点として体育館があるのだったら、もう1ヶ所、園と小学校も防災拠点とした場合、中学校並みの広さは必要ではないかという話が出ました。例えば、このエリア3-12台、先ほど駐車場はこれだけ必要かということから考えると、そこを少し削れば、防災拠点としての体育館を広げることができるのではないかという話が出ました。

また、全体的に敷地の広さの割に、駐車場のエリアがかなり広いために、例えば、園で言えば、0歳児から5歳児までは、ワンフロアで収めるようなゆったりした配置ができるのも

必要ではないかという話がありました。上ではなく横に広がるような空間が取れたらいいのではないかというのが、全体的な話です。

それぞれの配置については、特にもう専門の設計の方がしているので、なかなか細かいところまではよくわからないのですが、その全体的な割合からいくと駐車場のスペース、それと体育館の広さというあたりが、グループで出た内容です。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。次に、Bグループの方をお願いします。

(Bグループ)

まず、こども園の方からですが、屋上の使い道がいまいち分からないということで、未満児の小さいお子さんなんか、屋上に行くのにとっても大変かな。というふうに思ったりもして、屋上の遊び場の意義が不明確です。

次に、遊戯室が2階にあると思うのですが、これも小さいお子さんが2階に行くのがとても大変だと思います。行きやすい行き方があるのであれば、エレベーター等を使う、エレベーターの広さを確保する。これが十分であれば、2階でもいいと思うのですが、2階がちょっと厳しいのかなという意見がありました。5歳児の部屋と遊戯室が可動式の壁は、ちょっといかがなものかという意見がありました。

それと南側以外の道路が狭いのではないかということで、一方通行のルールを作るとはいえど、ご近所の方も通行されるので、送迎のときとなると、混雑するのではという意見がありました。

西側こども園ですが、北側から進入してくるので、入口もわりと北側にあるので、保護者はすぐ近くに止めたいと思います。図でいうと、上の方が混雑するのでは、そこで混んだら、その外側の道が混むので、一列になっているので、空いているか空いていないかわからない、行ってみただけ空いてなかったら、じゃあバックできるのかみたいな。なので、縦一列に駐車場があるのはちょっと不便かなあという意見がありました。

2階の園庭を見渡せるところの、フェンスのようなものがあるのかなと思うのですが、安全性が不安です。隙間がないようにするのかどうかなど。2階の会議室が不要なのは、会議は職員室でできるのではという意見があります。

次に、小学校、子どもが登校する時間帯が、こども園の早出等の送迎の時間と重なると、安全性が心配ということで、歩く動線であるとか、押しボタン信号の必要性が出ました。子どもが登校してくるときの入口の玄関というのですかね、屋根が必要あるのかどうか。コストの面を考えると、必要ないのかなという意見がありました。

あと多目的スペースに大きな階段ということですが、こちらも危険かなと、安全面はどうかというところで、車椅子のお子さんとかがいらっしゃったら、そのおさんは楽しめるのであろうかという意見がありました。

あと、全体的な外観の配色が、何か不思議というか独特というか、好みではないというか、個人的意見ですが、すみません。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

いろいろご意見たくさん出ていると思うのですが、できれば配置のことでお願いできればと思います。

では、Cグループをお願いします。

(Cグループ)

配置のことがなかったらごめんなさい。

まず、大階段の恐怖心はないのかなという意見がまず出ました。その時の幅と奥行きと素材は何なのか。

小学校の全1年生から6年生まで過ごすのに、そこが安全なのかなという意見が出ました。

次に、小学校のトイレの位置が出ました。授業中に用を足すときに、もしかしたら音が聞こえると、もしかしたらトイレに行きたくても行けない子がいるのではないかなというようなご意見もいただきました。

プールです。プールについては、今回のご提案の中にはなかったのですが、ヴィスポを利用する良さを話をさせていただきました。温水プールで1年中できる。どんなふうにして送っていくかは次の問題として、小学校にプールがあると管理面すごく大変なんです。朝、水入れて水温測って、塩素測って、朝から一仕事あります。その仕事をヴィスポの方がやってくれれば、私たち少し軽減できるのかな、そして指導者もプロに近い人なので、あまり泳げない先生が指導するよりは、的確な指導ができるのではないかなという、話も出ました。次、できるかどうかわかりません。給食センターではなくて、自校給食にはならないかなというご意見も出ました。そうすると地産地消、また、アレルギーの問題も少し解決していくのではないかな。こども園にいまして、10時ぐらいから来るといい匂いがプンとしてきます。

味噌汁のにおい、ああ今日はとんかつやなあとかいう、子どもたちも、そういう匂いで、食を喜んでますというお考えなのかなと思います。

駐車場からこども園に来るときに、朝、保護者の方はすごくもう急いでいらっしゃる。1ヶ所しかこども園へ入るのがなかったら、朝大変だと思います。

だから、何ヶ所か駐車場からこども園へスッと入ってこられるような通用門があれば、朝、急いでいらっしゃる保護者の方、小さい子を連れてきていますから走らすわけにもいけないし、ということで、駐車場からこども園の入りの工夫というのもできないかなと思います。

次、さや橋風の玄関、琴平町のことを思ってさや橋風というふうにしていただいたのですが、新しい校舎に、意見そのまま言いますね、さや橋がいいのかなみたいなご意見をいただきました。園とか、学校の玄関は顔であるので、それなりに人を迎え入れられるような玄関になったらいいかなという話をしました。

あとコンピューター室は不要か必要かという話で、結論は出ていませんけど、この中でも、不要だという人や、不要というか、必要だというような意見が分かれています。

こども園の方ですけど、屋上庭園の安全性というところが出ました。最後私の個人的な意見を少し出させてもらおうと、こども園のように会議室と休憩室があります。職員室に、先ほどお話がありましたけどどれだけ机が入るかわからない。今の状態だったら正規の先生しか職員数を入れていません。会計年度の先生は？というのがあったり、会議室と休息室が2つあるかどうかはちょっと疑問ですけど、やはり、会議をする部屋は欲しいなと思います。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

では最後に、Dグループお願いします。

(Dグループ)

失礼します。たくさんご意見が出た中で、重複するところもあると思うのですが、よろしくをお願いします。

まず、中の配置ということで、一番に出たのは、例えば、1年生が1階に1年生しかいないっていう状況があると。実際の話、1年生にはモデルが必要ですので、1つのフロアには、他の学年もぜひあって欲しいということから、やっぱり、教員としても、この配置っていうのが、どうかなっていう思いがあります。

それから特別教室についても、先ほどお話があったように、例えば、タブレット、今も教室で使っています。ですので、今まで必要だった教室が必要でなくなっている。

逆に教室はもっと広くないと、物が置けないという状況が生まれています。

例えば、1クラスの人数が30人を超えたり、2学級が1学級になったときの、子どもたち特に大きな学年の場合は、教室に入りきらないと想定されます。ですので、できるだ普通教室は余裕が欲しいな。

もし教室が広くならないのだったら、廊下の方って何かこう、設備があつて物が置けると、子どもは広く、余裕がある中で授業させたいなと思っております。これは私の意見です。

それから、大階段の話は、これも職員はよく言っているのですが、大きな階段を作ったら、それなりの決まりをたくさん作ります。走ってはいけない。何してはいけない。生徒指導の問題がいっぱい出てくると思います。

見た感じだと大変素敵でいいなあとと思うのですが、できればフラットなとこ

ろで、子どもたちが過ごせると理想、それが一番理想だなあと考えております。

それから、登下校についてです。

基本、学校は歩いて登校するっていうのが、子どもたちには染みついています、統合によって、それが不可能になってくるのが、起こり得ます。とても残念なことです。登下校によって、体というものが作られる。地域の子と一緒に歩いていくっていうのがとても重要なことなのですが、それが難しくなってくると思います。

そしたら、それなりにやっぱり、それを考えると駐車場であったり、動線であったりとか、とても大事になってくると思います。

学校の敷地の中では、あまり車をウロウロさせたくないです。大変危ないと思いますので、子どもが学校に着いたときに、安全に歩けるようなことを考えていって欲しいなと思っています。

もう1ヶ所しか、正門というか、入り口がないような気がするのですが、いろんな方向から子どもたち歩いてくると思います。ですので、やはり入口っていうのは作ってあげた方が安全に、学校の敷地に入ると安全ですので、そこをちょっと工夫していただくとありがたいなと思っています。

それから、駐車場、それに付随して、スクールバスがどうなるのだろうかというあたりでも、駐車場の広さというのは、関わってくるかなと思っています。登下校というのは、特に夏が長くなって、6月、7月、8は来ない。

9月、10月、すごく長い期間、もう汗だくで学校に来ています。やっぱりそれは、子どもたちのこの学校に来てからの活動を考えてあげたいなと。1時間目、朝の会からさわやかに活動することを考えると、送り迎えも仕方がない部分もあるとは思いますが、その辺の両方が歩いてくるといことと、駐車場を使う、親御さんの送り迎えっていうところで考えていただけたらなと思っています。

あと歩道橋等、また作っていただけたらとか、歩道がどうだろうかという、その辺の設備についても、また知りたいところです。

たくさん言いましたが、子どもたちは頑張って学校に来ておりますが、やっぱり夏の暑さというのは今年、大きな問題になりました。すてきな校舎を考えてくださっているんですけど、教室に冷暖房はあっても、そこから出られません。広いスペースがあっても暑くて暑くて、そういうことがあるということも、知っておいていただけたらなと思います。

以上です。

(委員長)

4グループの方からお話いただいた内容を今発表いただきました。どうしても新しい学校ということになりますので、配置ということに限定といいながら、配置以外のところ、これはどうなのかというふうになるのはもう仕方がないかなと思います。

今日のいただいた意見の中で、今後検討していく課題もたくさん入っていたのではない

かなと思いますので、ただ私もそうなんですけど、琴平で住んでると琴平のことしか頭にないので、今、最後に通学のこともおっしゃられましたけど、こんなに狭い小学校区はあまり他の町に行くとならないと思いますから、旧仲南町が仲南小学校1校ですから、琴南も1校ですから、広いところから比べるとどうかなと。

私、中学校の校長ですけど、私は保護者の方を送ってきてくれているのは駄目とは言っていないんですが、私は個人的には極力送って欲しくないっていうと思っています。中には mobi で来ている子もおりますが、大雨が降っているなら分かりますが、晴れているのに送ってもらうので、自転車こげないのかとか、よく思うんですけど。だからそういう歩くっていうことも大事だし、他の地域がどうなのかっていうのを見ながら、琴平の子だけ、全部送り迎えしてあげてっていうと、私は逆に弱い子が育つのではないのかなと思ってしまうところもあるので、無理はさしたくはないですけど。そのあたりは、これから設計の課題になってくると思います。

(事務局)

今日いただいた意見、そして今ちょっと小学校とこども園の方に先生方のアンケート、またヒアリング等を行っていますので、その意見と合わせまして、町とまた設計者の方との修正を加えていきます。

第3回目に修正した案をまた出せると思います。若干時間がかかりますので、第3回は、11月の終わりか12月の頭ぐらいを予定しております。その前に、今、12月中に、一応他の小学校、またこども園の視察を考えております。

今考えているところが、小学校の方で3つ、一番新しい香南小学校、それと先ほど言われました、鉄骨造の長尾小学校、それと、琴平町と同規模の豊浜小学校の3つを行こうと思っています。こども園の方は、新しい滝ノ宮こども園の方を予定しています。まだ日程は決まっていませんので、日程がわかり次第皆さんに通知します。

もう日程時間等はまだそう変えられませんので、その時間で、もし参加できる方、行けるよっていう方は、その参加者名簿を返信していただいて、参加して頂けたらと思います。それが一応11月の予定となっています。

第3回がたぶん12月に入るとは思いますけど、その時、皆さんの今の意見等について、修正していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。  
事務局は以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

(委員長)

それでは次は 11 月末か 12 月頭ということになるようですが、また事務局の方からお知らせがあるかと思しますので、お忙しい中だと思いますが、次回もどうぞよろしくお願い致します。

それでは時間もちょうど 8 時半まいりましたので、第 2 回の会の方はここで閉会させていただきます。

記録いただいた方については、記録用紙申し訳ないですが前の方へ持ってきていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。長時間に渡りありがとうございました。